

平成25年度第2回さぬき市史編さん委員会 会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成25年10月18日（金）午前9時30分～午前11時30分
- 2 場 所 さぬき市役所3階302会議室
- 3 出席者 【委員】9名  
六車功、熊田正美、六車繁美、川崎登、鈴木珠美、大垣博信、  
津村一仁、松田朝由、川地卓三  
【事務局】菊池等（総務部長）、中川勝幸（総務部秘書広報課課長補佐）、  
鶴身昌大（総務部秘書広報課主任主事）、津村一仁（委員兼総務部秘書  
広報課市史編さん委員会事務局長）
- 4 欠席委員 後井良行
- 5 会議次第
  - (1) さぬき市旧町史補遺編さん業務について
  - (2) プレゼンテーション審査
  - (3) 審議
  - (4) その他
- 6 事前送付資料  
プレゼンテーション参加者提出資料
  - (1) 株式会社ぎょうせい四国支社
  - (2) 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所
- 7 会議内容  
(総務部長) 平成25年度第2回さぬき市史編さん委員会の開会に先立って本業務  
へのプロポーザルに応募があったのは、事前資料のとおり2者であった  
ことを報告する。  
開会后、受付番号順にプレゼンテーション審査を行いたい。  
(委員長) 平成25年度第2回さぬき市史編さん委員会を開会する。2者のプレゼ  
ンテーションを審査した後に審議する。なお、プレゼンテーションは1者  
当たり20分とし、その後の10分間で質疑をお願いする。  
～株式会社ぎょうせい 入室・プレゼンテーション：出席者5名～  
(ぎょうせい)企画提案書に基づき、他市町村受託成果物を例示してプレゼンテーシ  
ョンを行う。  
(委員長) ぎょうせいのプレゼンテーションに対する質疑を求める。  
(委員) 例えば旧の町史で書かれていない香川用水事業の工事完了などの重要事

項の取扱いはどう考えているのか。

(委員) 例えば対象期間中に発掘調査された埋蔵文化財の取扱いについてはどうか。

(委員) 旧町史との連続性はどのように考えているか。

(ぎょうせい) 企画提案書はあくまでも素案であるので、今後編さん委員会と連絡を密にして、編さん委員会の意向に沿うように作成する。

～株式会社ぎょうせい 退室～

～引き続いて、株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 入室

プレゼンテーション：出席者3名～

(ジャパンインターナショナル総合研究所) 企画提案書に基づき、他市町村受託成果物を例示してプレゼンテーションを行う。

(委員長) ジャパンインターナショナル総合研究所のプレゼンテーションに対する質疑を求める。

(委員) 例えば圃場整備事業などの重要事項の取扱いはどうするのか。

(委員) 例えば対象期間中に発掘調査された埋蔵文化財の取扱いについてはどうか。

(委員) 旧町史との連続性はどのように考えているのか。

(ジャパンインターナショナル総合研究所) 今後編さん委員会と連絡を密にして、編さん委員会の意向に沿うように作成する。

～株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 退室～

(事務局) 参加2者のプレゼンテーション及び質疑応答の結果に基づき、編さん委員会委員及び総務部長は、審査表にて採点されたい。

～出席委員9名及び総務部長合計10名が審査表を事務局へ提出～

(委員長) 審査表の集計のため、暫時休憩する。

(委員長) [15分後] 再開する。事務局から集計結果の報告を求める。

(事務局) 各審査員100点、合計1000点満点で、A社809点、B社601点であった。

(委員長) 審査結果は報告のとおりであるが、委員の意見を聞きたい。

(委員) 企画提案書及び成果物を見ると、B社は、カラー写真、イラストなどを積極的に活用して、見やすいものを作ろうという意欲は十分伺えるが、記述内容が弱い印象である。

(委員) A社は、編さん委員会と連絡を密にして、いいものを作りたいと言っているので、より読みやすい旧町史補遺にするべく、当委員会が修正を加えてあげればよい。

(委員長) プレゼンテーションの審査結果及び委員の意見を集約すると、委員会としては、A社に委託するということが決定してよいか。

(委員) ～異議なし～

(事務局) 委員会の決定があったので、業務委託に向けて準備をしていき、委託契約後、11月中下旬に第3回委員会の開会をお願いしたい。

(委員長) 閉会する。